



長崎被災協・被爆二世の会・長崎

二世の会ニュース NO.26

発行日
2024年
9月1日

〒852-8115 長崎市岡町8-20 被災協気付
☎ 090-7581-9794 会長：山崎和幸
被爆二世の会・長崎 公式LINE・FB

原爆写真パネル展

2024年7月26日（金）～28日（日）長崎被災協2階会議室にて原爆写真パネル展を開催し、3日間で369人の来場がありました。

毎年、二世の会では平和の希求として写真パネル展を行っていますが、絵本や紙芝居などのほか、今年は諫早の二世の会から貸してもらった「千人針」も展示しました。

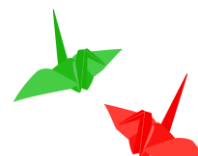
海外からの観光客、夏休み中の親子連れ、長崎で開催中の高校総体に参加の日本各地からの高校生も訪れ、写真パネルに見入っていました。子どもたちに原爆の紙芝居を見せながら説明している韓国人の父子の姿もありました。



長崎被災協・被爆二世の会・原爆写真パネル展

9月13日（金）～24日（火）

長崎市役所 19階ラウンジ



ぜひおでかけください。13日の設置作業と24日の撤収作業は午前10時から30分程度、お時間のある方はお手伝いください。（開催中は展示のみになります）

「被爆二世の会・長崎」総会・交流会

7月20日（土）13時より被災協地下講堂で総会と交流会を開催しました。

イベントは11月末に「インカニヤン」演奏会、来年は被爆80周年企画「アップダウン」原爆劇開催等が決定しました。

交流会では、自己紹介をした後に、色々な交流会を企画してほしい等、活発な意見交換ができました。



浦上川緑地帯で花植え活動

7月20日（土）9時より浦上川緑地帯で長崎被災協と二世の会・長崎の共同で約30名が参加して花植えを行いました。

浦上川は当時、水を求めて多くの被爆者たちが亡くなり、川は遺体であふれたといわれています。

きれいな花が咲くことで少しでも慰霊にという被爆者の故池田早苗さんの思いを引き継いでいます。



毎年さまざまな学校に参加を呼びかけてきましたが、今年は長崎総合科学大付属高校の生徒さん約10名が参加し、皆で250鉢のポーチュラカの花を植えました。

被爆二世健診を受診しましょう

健康診断は期間中1回のみ受診できます。本人の希望で多発性骨髄腫検査を同時に受診できます。昨年受診した人には自治体より受診票が郵送されます。受診していない人は自治体（長崎市居住者は長崎市、他の方は長崎県）に各自、申し込んでください。申込期間 2024年4月1日～2025年2月10日まで、受診期間は2024年4月8日～2025年2月28日までです。ぜひ受診しましょう。

長崎原爆犠牲者慰霊の献花式

79回目の長崎原爆の日、8月9日(月)朝9時から爆心地公園で、長崎被災協・被爆二世の会・長崎では9名が参列し、献花式を行いました。

「被爆二世の会・長崎」の山崎会長が挨拶し、黙祷のあと、壱岐市から参加の梅本さんが中心碑への献花を行いました。



韓国人被爆二世たちとの交流会

6月5日(水)17時から被災協地下講堂にて韓国人被爆二世者8名、三世1名と「被災協・二世の会・長崎」の5名と、うたごえの会や証言の会の方々も交え、交流会を行いました。大越富子・二世の会副会長は1910年以降の日本政府、日本



軍の行為に対し謝罪し、今後、同じ被爆二世の立場として核兵器の廃絶と戦争のない世界を求めていきたいと開会あいさつを行いました。

韓国在住だけでなく、米国、オーストラリア、中国に住む団体の人も参加し、核

兵器廃絶、また政府の軍備に反対する活動、人権を守る活動など幅広い活動を行っているという報告がありました。長崎の被爆二世たちも核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加した、親の被爆体験を語る活動をしている、病気に罹患している二世も多く、国の医療保障は切実な問題になっているなど発言しました。

参加者たちは今後も交流していきたいと話し、有意義な交流会となりました。

長崎被災協「被爆80年記念誌」原稿募集

長崎被災協では被爆80年に向けて3つのプロジェクト（これからの被災協、記念事業、世界に向けた広報活動）を立ち上げ、それぞれ二世の会・長崎や諫早の会員や市民が参加して進めています。

記念誌については、親や祖父母の被爆体験、その後の暮らしなど、これまで話を聞いてきたことや、自分が原爆、戦争、平和などについて考えていること、感じていることを原稿にまとめませんか。原稿は8,000字以内で、絵や短歌、俳句、写真なども受け付けています。発行は2025年8月9日になります。

被爆体験の聞き取りやビデオの撮影などの協力も募集中です。

被爆二世、三世全国連絡会 第1回交流会のご案内

日時 10月 14日（月）13時30分～17時

15日（火） 9時30分～15時

会場 京都教育文化センター（京都市左京区聖護院川原町4-13）

電話075-771-4221

発足にいたる経過、運動について、あらためて確認しましょう。グループ討議をしたり京都の会のアンケートから被爆二世、三世の健康実態について、また放射線の遺伝的影響についての学習会もおこなわれます。全国から70名ほどが参加予定です。参加できる方は9月14日までに会長の山崎までご連絡ください

●2024年度の会費納入をお願いします

正会員は年間3,000円（半年分ずつ納入可）、賛助会員1,000円です。

正会員には毎月、日本被団協新聞と長崎被災協のニュースが届きます。

振込口座 ゆうちょ銀行 01730-6-123957

加入者名「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」



●二世の会ニュースは年に3回（9月、12月、3月頃）発行します。